2021年3月23日

各　位

会社名　日本曹達株式会社
代表者名　代表取締役社長　石井　彰
（コード番号4041　東証第一部）
問合せ先　総務部長　竹内　哲
（TEL　03-3245-6053）

# 当社が開発した農薬原体を有効成分とする新規種子処理剤の米国における登録取得のお知らせ

このたび、当社の農薬原体「ピカルブトラゾクス」を有効成分とするシンジェンタ社の新規種子処理剤「VAYANTIS」が、米国において農薬登録を取得いたしましたので、お知らせいたします。

当社とシンジェンタ社は、主要農作物における新規の種子処理技術によるピシウム病防除のために、当社が開発した農薬原体「ピカルブトラゾクス」のグローバルライセンス契約を2018年2月に締結し、製品開発・登録を推進してまいりました。

「ピカルブトラゾクス」は、新規の作用機構と推定され、ピシウム属菌に優れた効力を示します。 種子処理剤として土壌病害であるピシウム菌から作物を保護することで、より効率性の高い農業生産が可能となります。

シンジェンタ社、シードケア部門グローバルヘッドのジョナサン・ブラウン氏は、次のように述べています。 「種子処理分野のグローバルリーダーとしてのポジションを確かなものにする新規種子処理剤「VAYANTIS」を市場に提供できることを誇りに思っています。 新規の作用機構をもつ「ピカルブトラゾクス」により、トウモロコシ、大豆、なたね、麦類およびその他の作物における、シンジェンタのピシウム病防除ポートフォリオが強化されます。」

種子処理用途としての「ピカルブトラゾクス」は、米国に続いて 2021 年下期にはカナダでの登録取得を予定しており、引き続き適用作物の拡大および他地域での製品開発・登録を推進してまいります。

※「VAYANTIS」は、シンジェンタ社の商標または登録商標です。

【殺菌剤「ピカルブトラゾクス」について】

当社は、「ピカルブトラゾクス」を含有する殺菌剤の農薬登録を 2017 年に日本国内で、翌年に韓国で取得しました。 日本国内において、「ナエファイン」「ピシロック」「クインテクト」という製品名で販売しております。

当社は、引き続き効力に優れ、安全性が高く環境に配慮した農薬の開発を通じて、食糧安全保障と持続可能な農業に貢献してまいります。

【日本曹達について】

日本曹達は、1920 年の創立以来、独自の技術とノウハウを蓄積し、農業、医薬品、特殊化学品など多岐にわたる分野で高機能・高付加価値の化学製品を提供してまいりました。 また、化学物質を取り扱う企業として、レスポンシブル・ケアの考え方を常に意識し、環境、安全、健康に配慮した事業活動を行ってまいりました。 これからも革新的な技術や製品を通じて、次世代の夢を実現する豊かな社会の構築に貢献いたします。

詳細は、https://www.nippon-soda.co.jp をご参照ください。

【シンジェンタについて】

シンジェンタは、アグリビジネスのリーディングカンパニーです。 私たちの強い願いは、地球環境を守りながら、世界中に食料を安全に届けることに貢献することです。 ワールドクラスの科学と革新的クロップソリューションにより、農業の持続可能性、品質、安全性の向上を目指しています。 シンジェンタの技術により、世界中の数百万人の生産者が限りある農業資源をより有効に活用できます。 世界 100 カ国以上で 4 万 9,000 人超の社員が作物生産の変革に取り組んでいます。 パートナーシップ、コラボレーション及び Good Growth Plan を通じて、生産性の向上、劣化した農地の回復、生物多様性の促進、および農村地域社会の活性化にコミットしています。

更に詳しい情報は、http://www..syngenta.com 、www.goodgrowthplan.com および http://www.syngenta.co.jp （日本語）でご覧ください。 またはツイッター www.twitter.com/syngenta でシンジェンタをフォローしてください。

シンジェンタ・シードケアの詳細は、www.syngentaseedcare.com をご参照ください。

以　上